

平成27年度

一般会計決算を認定

平成27年度一般会計決算を認定

平成27年度一般会計決算の主な内容は次のとおりです。

○主な内容

歳入決算額は741億7490万円、歳出決算額は711億1120万円となり、差引残額30億6369万円は、翌年度に繰り越されました。

○歳入の主なもの

歳入の根幹である市税は278億4971万円（一般会計の37・5パーセント）で、前年度比4億8811万円の減となっていますが、主要因として個人住民税の特別徴収（給与天引）を徹底する取り組みを実施した結果、平成28年度収入として取り扱われる額が増えたことや、法人市民税の税制改正による税率引き下げの影響によるものです。

次に、国からの補助金などである国庫支出金は123億7072万円（一般会計の16・7パーセント）で、前年度比15億6072万円の増となった主なものとして、新病院整備に伴う交付金が増えたことによるものです。

次に、国から地方財政の均衡を図るために交付される地方交付税は86億591万円（一般会計の11・6パーセント）で、前年度比2億9491万円の増となった要因は、新たに人口減少等特別対策事業費が創設されたことや、生活保護費、高齢者保健福祉費が増えたことに伴うものです。

○歳出の主なもの
歳出に占める割合の大きいものでは、社会福祉などに要する民生費は297億420万円（一般会計の41・8パーセント）で、社会福祉費や生

活保護費が増えたことにより、前年度比12億8219万円の増となりました。

次に、保健衛生や環境対策に要する衛生費は97億3680万円（一般会計の13・7パーセント）で、前年度比34億8974万円の増となった主な理由は、新病院整備出資金約30億円の増によるものです。次に、一般事務経費や災害対策などに要する総務費は80億7152万円（一般会計の11・4パーセント）で、総務管理費の減などにより、前年度比1億1770万円の減となりました。

そのほかに、土木費は74億3365万円（一般会計の10・5パーセント）。教育費は62億8068万円（一般会計の8・8パーセント）となりました。

【賛成多数で認定】

討論

市民負担軽減やサービス向上で子育ても老後も安心できる春日部市への転換を求め反対（日本共産党）

歳入では、地方交付税と臨時財政対策債の合計が26年度と比べて約2億円増加し、交付税は安定的に確保されています。市債残高は約708億円ですが、返済額が交付税算入される分を差し引くと約166億円です。一方、基金残高は総額約130億7000万円、5年前と比べて約1・4倍に増えています。実質的な借金は減少し、貯金は増加しています。市民の所得が減り、暮らしや営業がますます苦しくなっています。市の人口減少が続いている状況の打開にも、財源を積極的かつ有効に活用し、市民負担の軽減やサービス向上に取り組み、暮らしや営業を応援して、子育ても老後も安心の春日部に転換することが重要です。

歳出では、総務費において、民間に税金の電話催促業務を委託していますが、プライバシーの観点から問題です。職員数も少なく、サービス向上や災害時対応からも正規職員

の確保は必要です。また、女性活躍できる職場とすることも重要です。

民生費では、重度心身障がい者に対する公的施設を早急に整備する必要があります。

ふじ学園も早急に建て替え、障がいのある児童の療育ができるような拡充は当然です。高齢者福祉では、77歳の祝い金の復活を求めます。

児童福祉費では、子育て世代への経済的負担の軽減を図るべきです。

保健衛生費では、がん検診の無料化で早期発見、早期治療に取り組むべきです。また、小児救急医療の土日や休日の夜間診療は必要です。

土木費では、引き続き道路の改修を進め、老朽化した橋梁には早急な対策が必要です。鉄道の連続立体交差事業は進展が感じられず、早急な東西通行の具体策を強く求めます。

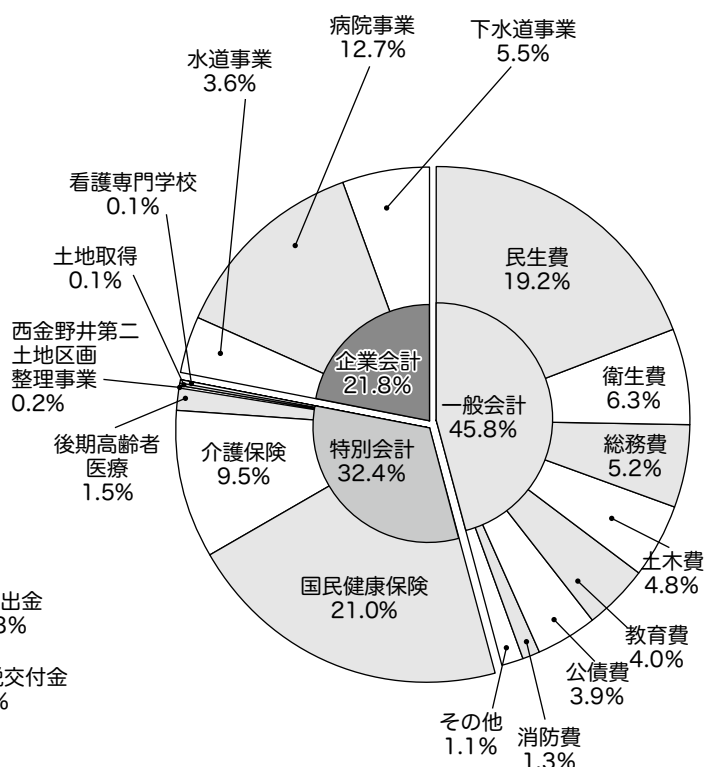
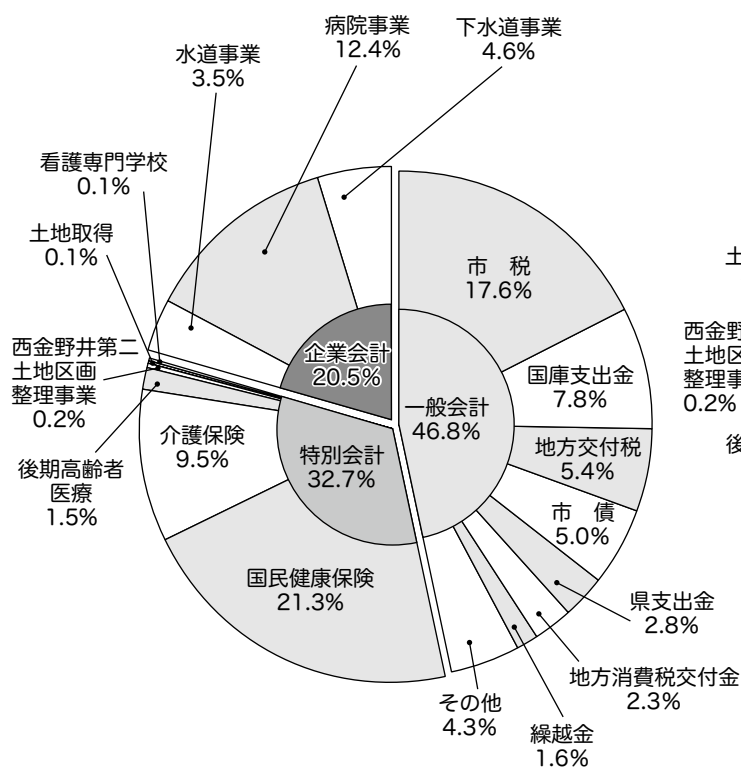
農林水産業費も商工費も、決算総額が非常に少ない状態が長く続いています。農家の後継者対策や、商工業の活性化対策、特に春日部駅東口地域への対策は重要な課題です。

4ページへ続く

平成27年度 会計別決算

歳入総額 1,586億3,615万円

歳出総額 1,550億9,439万円



一 般 会 計			
歳 入		歳 出	
市 税	278億4,971万円	民 生 費	297億 420万円
国庫支出金	123億7,072万円	衛 生 費	97億3,680万円
地方交付税	86億 591万円	総 務 費	80億7,152万円
市 債	79億 67万円	土 木 費	74億3,365万円
県支出金	44億2,516万円	教 育 費	62億8,068万円
地方消費税交付金	35億9,895万円	公 債 費	60億7,285万円
繰越金	25億5,229万円	消 防 費	20億1,171万円
そ の 他	68億7,149万円	そ の 他	17億9,979万円
歳入合計	741億7,490万円	歳出合計	711億1,120万円

特 別 会 計		
区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険	338億3,227万円	325億5,439万円
介護保険	150億9,422万円	147億 318万円
後期高齢者医療	23億5,897万円	23億3,291万円
西金野井第二土地区画整理事業	2億6,411万円	2億5,339万円
土地取得	1億8,337万円	1億8,337万円
看護専門学校	1億5,327万円	1億5,046万円
合 計	518億8,622万円	501億7,770万円

企 業 会 計	区 分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
	水 道 事 業	47億5,654万円	41億7,764万円	8億6,377万円	13億7,948万円
	病 院 事 業	76億7,449万円	76億1,288万円	119億7,862万円	120億5,042万円
	下 水 道 事 業	49億7,716万円	42億9,589万円	23億2,445万円	42億8,917万円

※計数については、それぞれ四捨五入をしているため、合計において一致しないものがあります。

2.ページからの続き

学校教育費では、不登校対策のため、子ども一人一人と向き合えるように教職員の増員や多忙化の解消などの総合的な対策が必要です。また、要望の多い洋式トイレの早期増設を求めます。他にも、就学援助の拡充も必要です。

社会教育は、公民館の有料化や市民プールの廃止など後退しています。社会教育の切り捨ては止めるよう求めます。

歳入歳出差し引き残額や基金の積み立ては、削減された福祉サービスをもとに戻し、市民の暮らしを支え、市民要望実現のために使うべきです。以上指摘して、反対します。

行政課題の解決に向けて効果的かつ効率的な予算執行に努めたものと評価し賛成（新政の会）

初めに、本決算は先行きが不透明な社会経済情勢の中、山積する行政課題の解決に向けて効果的かつ効率的な予算執行に努められたものと評価をしています。

まず、歳入の根幹をなす市税では、個人住民税において普通徴収から給与天引きである特別徴収への切り替えを推

進しました。小規模事業者にとつては事務量が増え、負担を感じている面がありますが、一層の周知を徹底することで、納税の公正公平とさらなる収納率向上を期待します。また、ふるさとかすかべ応援寄附金の充実により、寄附金が増額となりましたが、歳入全体では、依存財源の占める割合が増えており、樂觀できない財政状況が続いています。今後も、持続可能な財政基盤の確立のため、市税の収納対策のほか、さらなる自主財源の確保に期待しています。

次に、歳出の総務費において、市制施行10周年記念としてNHKのど自慢や記念式典の開催、市の歌の制定など、市民の皆さんとともに10周年を祝い、ふるさと春日部に対する愛着と誇りを共有することができたものと評価します。また、春日部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定で、地域創生に向けた新たな取り組みにも大いに期待します。

民生費では、認定こども園が2園。事業所内保育所が1カ所開設されたことや、内牧立野、南桜井、中野の各放課後児童クラブの増設などで、子育て支援のさらなる充実が

図られたことを評価します。商工費では、市制施行10周年記念プレミアム付商品券の発行で、新たな消費を喚起し、市内商工業や地域経済の活性化に寄与したものと考えます。土木費では、中央通り線や武里内牧線、新病院周辺道路の整備に加え、大枝公園の整備などにより、地域の活性化や魅力あるまちづくりにつながるものと期待します。

教育費では、全ての小・中学校の校舍および体育館の耐震補強工事が完了したことで、平成27年度末の耐震化率が100パーセントとなったことを、大いに評価します。

以上のとおり、歳出については、市民生活に真に必要な事業を優先した効率的な予算執行がされたものと受け止めています。

反対討論では、繰越金を出したことに異を唱えています。したが、いつ起こるとも分らない大きな災害に備えるためにも、基金への積立などは必要ではないでしょうか。

最後に、今後も限られた財源を有効かつ効率的に活用し、より一層の市民サービスに努めるよう要望し、賛成討論とします。

9 月 定 例 会 審 議 結 果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	市長提出議案名 () は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 主 義 党	民 進 党	無 所 属
議案第 65 号	下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 66 号	公民館条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 67 号	豊野環境衛生センター基幹的設備改良工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 68 号	市立小・中学校普通教室等エアコン整備 P F I 事業契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 69 号	財産の取得(春日部消防署浜川戸分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材) (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 70 号	平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 71 号	平成27年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	市長提出議案名 () は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
議案第 72 号	平成27年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 73 号	平成27年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 74 号	平成27年度後期高齢者医療特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 75 号	平成27年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 76 号	平成27年度土地取得特別会計決算認定 (総 務)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 77 号	平成27年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 78 号	平成27年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 79 号	平成27年度水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 80 号	平成27年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 81 号	平成27年度下水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 82 号	平成28年度一般会計補正予算(第2号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 83 号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 84 号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 85 号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 86 号	平成28年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 87 号	平成28年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 - :退席)

議案番号	議員提出議案名 () は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
議第 10 号議案	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 11 号議案	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	×	○	○
議第 12 号議案	無年金者対策の推進を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 13 号議案	給付型奨学金制度の導入・拡充による教育費負担の軽減を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×
議第 14 号議案	要介護1・2の生活支援・通所支援の「保険外し」などをやめ、安心・安全の介護保険制度に充実することを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 15 号議案	地方自治を尊重し、沖縄米軍基地の建設を中止するよう求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 16 号議案	原発再稼働に反対する意見書 (付託省略)	否 決	×	× ₋₁	×	○	○	×	×